

Corel MultiCam ユーザーガイド

Corel MultiCam Capture XL も含まれています



Corel®MultiCam は、ビデオ キャプチャおよび編集ソフトです。自分自身、コンピューター画面、他の人々、風景などをすべて同時に簡単に録画できます。Web カメラを接続すれば、Corel MultiCam が、いつものパソコンがキャプチャ ハブに変身します。録画が終了したら、作品をエクスポートする前に、プロジェクトにテキスト、トランジション、ピクチャ イン ピクチャなどを追加して編集できます。

Corel MultiCam で作成できるプロジェクト

- トレーニング ビデオ、ウェビナー、プレゼンテーションなど、画面上で話す人と内容が交互に表示されるもの
- 製品レビューやハウツービデオ、パフォーマンス、さらに Web カメラの映像が切り替わるデモや製品紹介などのビデオブログを含む YouTube やその他のオンライン動画

このガイドでは、以下のトピックについて説明します。

- Corel MultiCam の基本
- ワークスペースの概要
- マルチカメラ ビデオを録画し編集する方法
- 保存、エクスポート
- ソースおよびアプリケーションの設定
- ショートカット キー

Corel MultiCam の基本

Corel MultiCam のプロジェクトは基本的に以下の手順で作成します。

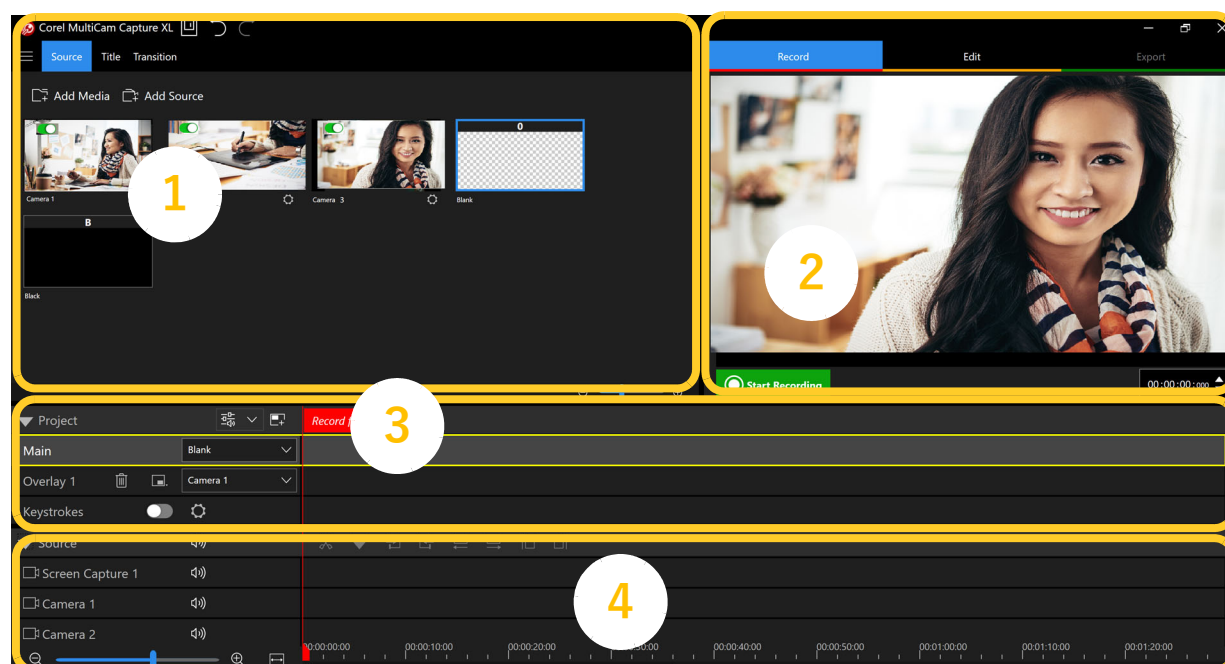
- 1 アプリケーションを起動。デフォルト設定では、デスクトップのフル画面と内蔵の Web カメラが**[スクリーンキャプチャ 1]** および **[カメラ 1]** として追加されます。
- 2 必要であれば、これにさらに USB Web カメラを追加できます。
- 3 **[ソース]** パネルを使って、プロジェクトに使うメディア ファイルを追加します。
- 4 **[メイントラック]**、そして **[ソース]** をクリックします。または、**[オーバーレイ]** トラックを選択できます。
- 5 **[記録開始]** をクリックしてプロジェクトを記録します。記録中にソースを切り替えるには、ソースのサムネイルをクリック（またはショートカットキーを使用）します。
- 6 録画が終われば、**[録画を停止]** をクリックします。

- 7 **[編集]** タブをクリックし、タイトルやトランジションを追加するなど、追加の編集または調整を行います。
- 8 **[エクスポート]** タブをクリックして、このプロジェクトを 1 ビデオ ファイルとして保存またはアウトプットします。

ワークスペースの概要

Corel MultiCam のワークスペースは、4 つのメイン エリアで構成されています。

- 1 **[ソース]、[タイトル]、[トランジション]** パネル
- 2 **[録画]、[編集]、[エクスポート]** パネル
- 3 **プロジェクト エリア**
- 4 **ソースのタイムライン**



ソース、タイトル、トランジション パネル

デフォルト設定では、このパネルに**[ソース]** ページが表示されます。そして、内蔵のカメラと画面がソースとしてここに表示されます。USB コネクタでコンピューターに接続された互換性のある Web カメラや追加したメディアがあれば、ここにこれらがすべて表示されます。スペーサーも利用可能です。プロジェクトに**[空白]**（透明）や**[黒色]**のセクションを追加できます。**[ソース]** パネルのコンテンツが**[ソース タイムライン]**に追加されます。

[タイトル] タブをクリックすると、**[タイトル]** ページを利用できます。

また、[トランジション] タブをクリックすると、[トランジション] ページを利用できます。

録画、編集、エクスポート パネル

デフォルト設定では、[録画] ページが表示されます。ここでは、選択したソースを見たり、録画したプロジェクトを**録画トラック**に再生したりできます。

[編集] タブをクリックすると、[編集] モードを使用できるようになります。[編集] モードには、プロジェクトをチェックできる標準的な再生コントロールが含まれています。



[ホーム]、[前フレーム]、[再生]、[次フレーム]、[終了] ボタンを含む再生コントロールバー[音量]/[ミュート]、[タイムコード]

[エクスポート] タブをクリックすると、[エクスポート] モードを利用できます。

プロジェクト エリア

ここで MultiCam のプロジェクトを録画します。このエリアには以下が含まれています。

- **メイントラック**：現在、メイン ビデオとしてどのソースが録画されているかが表示されます。
- **オーバーレイトラック**：メイントラックにソースを重ねて割り当て、基本的なオーバーレイ設定ができます。例えば、ピクチャーインピクチャー (PIP)エフェクトを作成できます。
- **タイトルトラック**：プロジェクトにテキストを追加できます。
- **キーストロークの追跡**：ビデオを録画しながら押したキー（キーストローク）をキャプチャできます。押したキーを追跡した情報をエクスポートできます。

注意: この機能が利用できるかどうかは、お使いのバージョンによって異なります。













録画中は、アクティブなソースが[メイン]トラックに、また選択した場合は[オーバーレイ]トラックにキャプチャされます。[編集] モードで作成したタイトルが、[タイトル]トラックに追加されます。

ソースのタイムライン

[ソースのタイムライン] には、プロジェクトに追加したすべてのソースである**ソース**のカメラや画面、**オーディオ**のソース、アセット（録画済みのビデオクリップ、オーディオクリップ、画像ファイルなど）などが表示されます。

ツール バー

片方、または両方のツール バーで次のようなコントロールを利用できます。

-  **[ソーストラックの展開/折りたたみ]** を使うと、**[ソースのタイムライン]** を広げる/たたむことができます。
-  **[波形]** には、クリップのオーディオ波形が表示されます。
-  すべてのトラックで、**[ミュート オン/オフ]** を設定できます。
-  一般に、**[同期]** により、異なるデバイスで同時にキャプチャした複数のクリップを同期できます。同期のその他のオプション：
 - **[オーディオ同期]** – **[同期]** ボタンをクリックすると、**[ソースのタイムライン]** にある複数のクリップの音声波形をマッチさせて同期します。注意: このオプションを使用するには、ビデオクリップに音声が含まれている必要があります。
 - **[マーカー同期]** – **[ソースのタイムライン]** でクリップを選択し、クリップを再生するか視覚キューを使って目的位置までスクラブし、ツールバーの **[マーカーの設定/削除]** ボタン  をクリックして、マーカーを追加します。マーカーが各クリップに追加されたら、**[同期]** ボタンをクリックして、マーカーに沿ってクリップを配置します。
 - **撮影日時**： **[同期]** ボタンをクリックすると、クリップのメタデータにある日付や時刻に基づいて **[ソースのタイムライン]** にある複数のクリップが同期します。
-  **[クリップの分割]** により、メイントラックまたはオーバーレイトラックにあるクリップをクリックして、2つのクリップに分割できます。
-  **左側を 1 フレームトリムする**：クリックすると選択したソースの始点から 1 フレームトリミングすることができます。
-  **右側を 1 フレームトリムする**：クリックすると選択したソースの終点から 1 フレームトリミングすることができます。
-  **1 フレーム左に進む**：クリックすると、選択したソースが左側（前のタイムスロット）にシフトします。
-  **1 フレーム右に進む**：クリックすると、選択したソースが右側（後のタイムスロット）にシフトします。
-  **クリップの開始点に移動**：クリックして、選択したクリップの開始点に移動することができます。
-  **クリップの終点に移動**：クリックして、選択したクリップの終点に移動することができます。

マルチカメラ ビデオを録画し編集する方法

次の手順に従ってマルチカメラ ビデオをキャプチャし編集してください。なお、録画後は、編集してタイトルやランジションを追加できます。また、プロジェクトを録画する前は、画面およびカメラのソースの設定をチェックできます。詳細については、“ソースおよびアプリケーションの設定” on page 9 を参照してください。

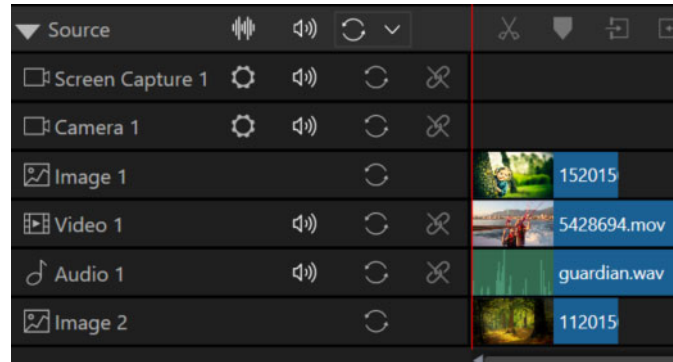
マルチカメラ プロジェクトを録画または編集するには



- 1 アプリケーションのCorel MultiCam または Corel MultiCam **Capture XL** を起動します。
デフォルト設定では、画面および内蔵カメラは **[ソース]** エリアに **[スクリーンキャプチャ 1]**、**[カメラ 1]** として追加されます。
- 2 追加したい Web カメラ、画面、オーディオ デバイスがあれば、これらを USB コネクタを使ってパソコンに接続し、**[ソース]** エリアで **[ライブソースを追加]** をクリックします（ソースが自動で表示されない場合）。
- 3 事前にレコーディングしてあるビデオ クリップ、オーディオ、画像でプロジェクトに入りたいものがあれば、**[ソース]** エリアにある **[メディアを追加]** をクリックし、**[メディア ファイルを追加]** リストで、追加したい種類のメディアを **[ビデオ]**、**[オーディオ]**、**[画像]** から選び、該当するプラス記号をクリックします。使用するメディアに移動します。



ビデオ（上）、オーディオ（中）、画像（下）のアイコンは、プロジェクトに追加するメディアトラックの種類を表しています。

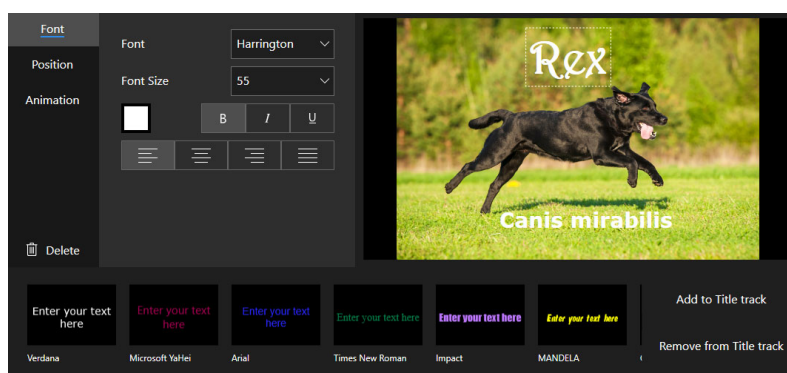
- 注意:** 1 つのトラックに複数のメディアを追加することができますが、通常は 1 トラックにつき 1 ファイルとすると、最もフレキシブルに利用できます。メディアにトラックを追加するには、**[メディアファイルを追加]** リストで、**[ビデオを追加]**、または**[オーディオを追加]**、**[画像を追加]** ボタンをクリックします。
- 4 **[OK]** をクリックしてメイン ウィンドウに戻ります。すべてのソースが、トラックとして **[ソースのタイムライン]** に表示されます。
- 注意:** ソースとして追加するすべてのメディアは、録画したいタイムコードでタイムラインに表示されなければなりません。画像ファイルについては、**[ソースのタイムライン]** でクリップの長さを延長し、録画のどの時点でも必ず利用できるようにすることができます。ビデオまたはオーディオ クリップについては、録画またはフル ビデオ エディターにエクスポートした後、**[ソースのタイムライン]** で位置を調整し、**[編集]** モードで追加の編集をします。



- 5 [オプション] ピクチャインピクチャ（オーバーレイ）を利用するには、[プロジェクト] エリアで、[オーバーレイ]トラックをクリックし、ドロップダウンメニューから表示したいメディア ファイルまたはソースを選択します。[オーバーレイの位置を変更] ボタン  をクリックし、オーバーレイ スクリーンの位置を設定します（プレビューに表示されます）。2以上のオーバーレイを追加するには、ツールバーにある[オーバーレイトラックを追加] ボタン  をクリックします。
- 6 [プロジェクト] エリアで[メイン]トラックをクリックし、[ソース]でレコーディングしたいソースのサムネイルをクリックします。
- 7 [録画]（プレビュー）エリアの下部にある[録画を開始]をクリックします。
録画を開始と同時に Corel MultiCam ウィンドウが最小化したら、タスクバーのアプリ アイコンをクリックするとアプリ ウィンドウを元に戻すことができます。
- 8 録画中は、[ソース] エリアでソースをクリックすると、[メイン]トラックに記録されているものを変更できます。オーバーレイトラックを使用している場合は、オーバーレイトラックをクリックして、ソースをクリックすることでソースを変更できます。
- 9 録画が終わると、[録画を停止]をクリックします。
- 10[録画] エリアの上部で、[編集] タブをクリックして、[編集] エリアを開きます。
- 11プロジェクトを確認するには、[編集] で再生コントロールを使用し、[プロジェクト] エリアで調整します。個々のクリップをクリックして、端をドラックして長さを調整します。ツールバーのツールを使って、プロジェクトを編集することもできます。詳しくは、“ツールバー” on page 4を参照してください。
- 12タイトルやトランジションを追加したい場合は、ここでそれを行います。詳しくは、“タイトルを追加するには” on page 7および“トランジションを追加するには” on page 8を参照してください。
- 13プロジェクトの編集が終わると、保存またはエクスポートできます。詳しくは、“保存、エクスポート” on page 8を参照してください。

タイトルを追加するには

- 1 プロジェクトの録画が終わり、画面が[編集]モードであるとき（[録画]、[編集]、[エクスポート]パネル内の[編集]タブがアクティブな状態）、[ソース]エリアで、[タイトル]エリアにある[タイトル]タブをクリックして表示します。
- 2 [プロジェクト]エリアで、タイトルを追加したいタイムコードの位置まで再生ヘッドを移動します。
- 3 [タイトル]エリアで、パネルの下部にあるタイトルのサムネイルをクリックします。
- 4 テキストを入力します（入力すると、サムネイルのテキストは消えます）。
- 5 [タイトル]エリアで、[フォント]、[フォント サイズ]、[カラーピッカー]、またはその他の書式オプションを必要に応じて変更します。



- 6 [配置] タブ（[タイトル] エリアの左側）をクリックし、タイトルの配置を表した9つのボックスからどれか選んでクリックします。
- 7 アニメーションを追加したい場合は、[アニメーション] タブをクリックし、[スタイル] ドロップダウン メニューからモーションのオプションを選択し、[速度] ボックスで値を設定します（値が高ければモーションは速くなります）。
- 8 タイトルに複数のテキスト スタイルを適用したい場合（1つのタイトル クリップにメインテキスト、サブテキストを入れるなど）は、3 から 6 の手順を繰り返してテキストを追加します。
注意: タイトルからテキスト要素を削除するには、テキスト プレビュー エリアで、テキストをクリックし、パネルの左側にある[削除]をクリックします。
- 9 [タイトルトラックに追加] ボタンをクリックし、新しいタイトルを[タイトル]トラックに追加します。
注意: タイトルを削除するには、[タイトル]トラックでタイトルをクリックし、[タイトル]エリアで[タイトルトラックから削除] ボタンをクリックします。



録画の最初でタイトル用にスペースを空けておくには、[ソース]エリアで、**黒色**のスペーサーをクリックして、別のソースをクリックして他のコンテンツを記録する前に数秒間、真っ暗な背景を入れます。

トランジションを追加するには

- 1 プロジェクトの録画が終わり、画面が **[編集]** モードであるとき（**[録画]**、**[編集]**、**[エクスポート]** パネル内の **[編集]** タブがアクティブな状態）、**[ソース]** エリアで、**[トランジション]** エリアの **[トランジション]** タブをクリックして表示します。
- 2 **[トランジション]** で、使用したいトランジションのサムネイルを選択し、**[プロジェクト]** エリアにある開始部、または終了部、クリップ間にドラッグします。
注意: トラック内のトランジションを右クリックして、**削除** したり、**[トランジション設定]** を開いて、**長さ** や **トランジション** を変更したり、選択したトランジションの設定を調整したりできます。

保存、エクスポート

プロジェクトを編集した後、保存して後で編集したり、1 ファイルとしてエクスポートし、再生したり共有したりできます。

プロジェクトを保存するとき、3 つの形式から選択できます。

- **Corel MultiCam** 形式 (.mcceproj) : いつでも開いて編集、再記録できます。
- **Pinnacle Studio** マルチカメラ形式 (.mcam)
- **VideoStudio** プロジェクト形式 (.vsp)

プロジェクトを 1 ビデオ ファイルとしてエクスポートするときは、AVC、MPEG2、MTS、M2T のビデオ形式から選択できます。

プロジェクトを保存するには

- 1 録画を編集した後、**[編集]** エリアの上部で、**[エクスポート]** タブをクリックします。
- 左側のメニューから、以下のいずれかのオプションを選択します。
 - **保存** : 現在のプロジェクトを、選択したプロジェクトの種類で保存します。
 - **名前を付けて保存** : 現在のプロジェクトを、新しいプロジェクトの種類またはファイル名で保存できます。

プロジェクトを 1 ビデオ ファイルとしてエクスポートするには

- 1 録画を編集した後は、**[編集]** エリアの上部で、**[エクスポート]** タブをクリックします。
- 2 左側のメニューから **[ビデオのエクスポート]** を選択します。
- 3 必要に応じて、**[ファイル名]**、**[形式]**、**[解像度]**、**[位置]** の設定を調整します。
- 4 **[ビデオをエクスポート]** ボタンをクリックします。

ソースおよびアプリケーションの設定


各ソースのデフォルト設定は、変更が可能です。例えば、画面を録画するのに、画面のどの部分を録画するかを設定できます。また、デフォルトの画像やトランジションの継続時間やファイルの位置などの基本的なアプリケーション設定もいくつか行うことができます。

使用できる設定は、ソースの種類、特徴、コントロールによって異なります。利用可能な設定についての詳細は、キャプチャ デバイスのドキュメントをご覧ください。


クロマキー

カメラトラックに関しては、クロマキー設定（一般にグリーン スクリーン効果に使われます）を使って、特定の背景色を削除して、選択した背景画像と入れ替えたり、透明のままにしたりできます。



ソース設定を変更するには

- 1 [ソースのタイムライン] で、トラック上で設定を調整したいソースの歯車アイコン  をクリックします。
- 2 必要に応じて設定を調整します。詳細は、本セクションにある設定の説明をお読みください。

デフォルト設定のアプリ設定を変更するには



- 1 アプリケーション ウィンドウの左上隅にあるメニュー ボタン  をクリックし、左下隅にある [設定] をクリックします。
- 2 以下の設定のいずれかを変更します。
 - デフォルトの画像表示時間
 - デフォルトのトランジション時間
 - デフォルトのファイルの場所
 - オーディオスクラブを有効にする: クリップの音声波形が表示され、波形ビューを使ってクリップを手動で揃えることができます。

クロマキー設定を使ってソースの背景を変更するには

- 1 [ソースのタイムラン] で、[カメラ] トラックで調整したい歯車アイコン  をクリックします。
- 2 [カメラ設定] ウィンドウで、[クロマキー] タブをクリックします。
- 3 [カラーピッカー] ボタン  をクリックし、プレビュー エリアで透明にしたい色を選択します。

- 4 **[背景]** のドロップダウン メニューから、次のいずれかを選択します。
- **透明背景**：選択した色と一致する領域を透明にします。
 - **イメージを選択**：選択した色と一致する領域を、下方にある選択した画像と入れ替えます。
- 5 以下のコントロールを使って、クロマキーの仕上がりを調整します。
- **カラーの許容範囲**：**[カラーピッカー]** で選択する色が、どのくらい類似色と似ているかに基づいてクロマキーの領域を調整します。低い値を設定すると、近似した色相のピクセルのみが取り入れられ、高い値を設定すると、領域が広がり広範囲の色相を取り込みます。
 - **エッジのスムーズ化**：クロマキーの領域のエッジを滑らかにします。
 - **透明度**：クロマキーの領域の不透明度を、完全に透明（100）から完全に不透明（0）まで設定できます。
- 注意**：クロマキーの結果は、**[クロマキーを適用]** チェック ボックスを使ってオンとオフに切り替えられます。また、**[クロマキーを反転]** チェック ボックスを使って、クロマキーの結果を反転させることもできます。

画面キャプチャの設定

- **モニタを選択**：複数のモニターを使用する場合、画面録画に使用するモニターを選択します。
- **指定範囲をキャプチャ**：キャプチャするウィンドウを選択します。デフォルトでは、すべてのウィンドウがキャプチャされます（フルスクリーン）。
- **フリーハンド選択**：キャプチャする領域をカスタマイズして指定するには、**フリーハンド選択** ボタン  をクリックしてキャプチャする範囲を画面上でドラッグします。幅（W）および高さ（H）を入力するボックスに数字を入力してサイズを調節します。**[縦横の比率を保持する]** ボタン  をクリックすると、特定の縦横比を保持できます。
- **オーディオ ソース**：画面用には **[なし]** に設定します。
- **マウスクリックアニメーション**：（**[アドバンス設定]** タブで）画面キャプチャにマウスクリックを含めることができます。
- **エンコード**：ビデオファイルの作成に使用する形式/コーデックを選択できます（画面のキャプチャには、AVC または MJPEG）。
- **フレーム レート**：フレームレートを高く設定すると高画質に仕上がりますが、多くの画像キャプチャが必要になります（ファイルサイズが大きくなり、より多くのシステム リソースを要します）。
- **遅延時間（ms）**：遅延時間の値を設定することで、オーディオとビデオ画像の同期の問題を修正できます。画面キャプチャの遅延時間を修正するには、60 から 150 の間をお試しください。

カメラの設定

- **ビデオソース:** この情報は自動検出されます。
- **オーディオソース:** この設定で、キャプチャしたソースビデオファイルのオーディオトラックを決定します。カメラごとにオーディオソースを選択する、全カメラに同じオーディオソースを使用するなどのオプションがあります。
- **解像度:** 解像度を指定できます。たとえば、ビデオ編集ソフトウェアのレンダリング機能に頼るのではなく、すべてのビデオソースに同じ解像度を選択（可能な場合）することができます。
- **エンコード:** デフォルトで最適なエンコードが設定されていますが、別のオプションに変更することも可能です。
- **フレームレート:** フレームレートを高く設定すると高画質に仕上がりますが、多くの画像キャプチャが必要になります（ファイルサイズが大きくなり、より多くのシステムリソースを使用します）。
- **アンチフリッカー:** 蛍光灯のある室内で録画された映像のチラつきを軽減します。通常、北アメリカで 60Hz、ヨーロッパで 50Hz を選択すると、チラつきや不要な線を補正できます。
- **遅延時間 (ms):** 遅延時間の値を設定することで、異なるデバイスでキャプチャされたオーディオとビデオ画像の同期の問題を修正できます（通常は、カメラが連携していないために発生します）。[検出] をクリックすると、デバイスに適正な値が設定されます。画面上の指示に従い、カメラの距離や位置を調整しながら、番号表示をキャプチャしていることを確認します。

ピクチャ設定タブ

- **輝度:** ビデオの全体的な明るさ/暗さを調整します。
- **コントラスト:** ビデオ画像の明るい部分と暗い部分の違いを調整します。
- **色相:** 全体的なカラーを調整できます。
- **彩度:** 純色の量（グレーから完全色まで）を調整します。
- **シャープネス:** エッジのディテールを調整して、よりシャープに、あるいはよりソフトにします。
- **ガンマ:** 画像のコントラストに影響し、これを使うことで画像全体を明るく（コントロールを右に移動する）、または暗く（コントロールを左に移動する）できます。
- **ホワイトバランス:** 照明条件(色温度)により発生するカラーキャストを補正し、ビデオ映像の白い領域を真っ白に表示します。
- **バックライト補正:** 露出の高い領域はそのまま、露出の低い部分を明るくできます。
- **ゲイン:** 照明が暗い、または明るすぎる画像を補正します（カメラの ISO 設定に似た調整です）。

カメラ設定タブ

- ・ **ズーム**: カメラのデジタルズーム機能に基づき、ズームイン/アウトします。
- ・ **フォーカス**: 焦点をあてる部分を調整します。
- ・ **露出**: 画像の明るさを調整し、画像の全体的な照明効果を設定します。
- ・ **アパーチャ (アイリス)**: カメラの f ストップ設定を調整します。この値により、被写界深度が決定されます。
- ・ **パン**: ズームインした状態で**パン**すると、映像を水平方向に調整できます。
- ・ **チルト**: ズームインした状態で**チルト**すると、映像を垂直方向に調整できます。

ソースでサポートされている場合は、**自動**ボタンを使用できます。

元の設定に戻すには、**[リセット]** をクリックします。

ショートカット キー

アクション	ショートカット キー
カットして ソース 1 に切り替え（または ソース 2 、 ソース 3 ... ソース 9 まで）	1 （または 該当するソース番号を 1 から 9 まで）
新しい オーバーレイ トラックを追加	N
メイン トラックを選択	M
最初の オーバーレイ トラックを選択	P
別の オーバーレイ トラックを選択（複数の オーバーレイ トラックがある場合）	P キーを押したまま下向きの矢印キーを押して、使いたい オーバーレイ トラックを選択します。
選択したソースを削除	削除
元に戻す	Ctrl + Z
再生の 開始/停止	K
レコーディングの 開始/停止	F11
選択部分を カット （分割）	Ctrl + K
左側を 1 フレーム トリミングする	Ctrl + Alt + 左向きの矢印キー
右側を 1 フレーム トリミングする	Ctrl + Alt + 右向きの矢印キー
クリップの左側を 1 フレーム移動する	Alt + 左向きの矢印キー
クリップの右側を 1 フレーム トリミングする	Alt + 右向きの矢印キー
メディア ファイルの追加（[メディアの選択] で）	Ctrl + M
ビデオを追加（[メディアの選択] > [ファイル選択を開く] で）	Ctrl + V

アクション	ショートカット キー
画像を追加（[メディアの選択] > [ファイル選択を開く] で）	Ctrl + I
オーディオを追加（[メディアの選択] > [ファイル選択を開く] で）	Ctrl + A
画面を追加 （追加画面で）	Ctrl + Alt + S
カメラを追加 （追加画面で）	Ctrl + C
ファイルまたはフォルダを選択（[ファイル選択] で）	矢印キーを使います
ビデオのエクスポート	Ctrl + E
[タイトル] タブに切り替え	Ctrl + Alt + T
タイトルを削除	Alt + D
タイトル トラックに追加	Ctrl + Alt + A
タイトル トラックから削除	Ctrl + Alt + R
ソースを同期	Ctrl + Y
マーカーを追加または削除	Ctrl + R
ソース 1 （または ソース 2 、 ソース 3... ソース 9 まで）の ミュート オン/オフ	Alt + 1 （または該当するソース番号の 1 から 9 まで）
ソース 1 （または ソース 2 、 ソース 3... ソース 9 まで）の 設定 を開く	Ctrl + 1 （または該当するソース番号の 1 から 9 まで）
ソース 1 （または ソース 2 、 ソース 3... ソース 9 まで）の 同期 のオン / オフを切 り替え	Ctrl + Alt + 1 （または該当するソース番 号の 1 から 9 まで）

法的通知

Corel® MultiCam ユーザーガイド

Copyright © 2021 Corel Corporation. All rights reserved.

Corel、Corel のロゴ、Corel バルーン ロゴは Corel Corporation および/またはその関連会社の商標または登録商標です。その他の製品名、フォント、および会社名とロゴは、それぞれ該当する会社の商標または登録商標です。

その他の製品、フォント、企業名、ロゴはすべて、それぞれの所有者の商標または登録商標です。